

# 豊かな福祉、輝く未来めざして 介護の現場でひたむきに17年

私は、介護の現場で17年、高齢者や障がい者の皆さんに寄り添い、尊厳を守る立場で支えてきました。安倍政権が介護や福祉の切り下げをねらっている今、「このままではいけないっ！なんとかしなければ！」の思いで、区政に挑戦を決意しました。

和田正子さんの活動をしっかり受け継ぎ、地域の皆様の願いや要求をまっすぐ区政に届けるために、一生懸命がんばります。暖かいご支持、ご声援をよろしくお願い致します。



あらお大介さんに  
バトンタッチを  
区議会議員 **和田正子**

**日本共産党**

区議会議員予定候補  
党地区福祉・介護対策委員長

# あらお大介

荒尾 だいすけ 39歳  
ケアマネージャー・介護福祉士

E-Mail [daisuke-arao@jcp-ota.jp](mailto:daisuke-arao@jcp-ota.jp) ブログ [桜坂通信](#) 検索  
03-3735-2902 [@araodaisuke](#) [faraodaisuke](#)



## お約束

だれもが安心できる介護・医療を  
医療・介護の負担増・締め出しは許しません  
特養ホームの増設、介護保険料・国民健康保険料の負担軽減、家族介護への支援、介護職員の処遇改善  
若者の就学・雇用の支援。待機児ゼロへ  
区に若年労働者の相談窓口。給付型奨学金制度  
認可保育園の増設、認証保育園保護者助成の拡充  
大田区の商工業の活性化  
商店街の街灯・休憩所設置、町工場・中小企業支援  
大型開発見直し  
多摩川線素通りの新空港線・蒲蒲線計画は中止に  
羽田空港跡地、蒲田駅周辺再開発は見直し  
平和都市宣言の立場で、大田から平和の声を  
「戦争する国づくり」ノーの声を発信する大田区に。

**プロフィール** 1975年 山形県酒田市生まれ、39歳 1991年 酒田南高校入学、登山に熱中 1994年 敬和学園大学入学。演劇サークルに没頭。ボランティアで介護現場を体験、大学を中退し、介護の現場に飛び込む 1999年 日本共産党入党。平和友好祭・原水禁運動などに取り組む 2008年 上京し、障害者の文化活動支援のNPO、訪問介護事業所、高齢者入所施設で介護に従事 趣味 サッカー観戦 音楽(R&B)、朗読(声優養成所にも通う)



2015年春季号外  
大田民報社 大田区北馬込1-4-12 佐藤方

**日本共産党区議団**

みなさんと力合わせて実現

全区民対象アンケートなど区民によりそい、  
4年で条例提案11件など抜群の提案力で  
予算組み替え提案で財源も示し、この  
4年間で認可保育園21か所実現  
公有地活用などの提案繰り返し、この  
4年間で特別養護老人ホーム5か所増設  
住宅リフォーム助成実現・プレミアム商品  
券拡充・区内全事業所実態調査の実現  
多摩川土手に歩行者用スロープ設置

このかけがえのない

実績を受け継ぎ、

若い力で発展させます



あらお  
大介

日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。

# あらお大介

## 自分にも人の助けになる道がある

あらお大介さんが、介護の仕事に出会ったのは大学時代。ボランティアで介護を体験し、「自分にも人の助けになる道がある」と、大学を中退して介護の現場に飛び込みました。

### 初めての職場は 老人保健施設 「ありがとう」の言葉に励まされ

当時は介護保険制度もなく、介護の教育も資格もないまま、現場につきましました。夜勤のときは2人の職員で、1フロア50人の入所者さんの安否確認・体位交換・トイレやオムツ交換などに対応しなければなりませんでした。自分の力量も体制も不十分な中、入所者さんが満足できるようにケアが提供できないもどかしさを感じつつ、試行錯誤を重ねながら、必死で働きました。

そんな中でも、入所者さんや家族の方の「ありがとう」の言葉に大きな励ましをうけ、この道を進もうとの思いを強めてきました。

### 在宅介護の現場から見たもの

自分自身の介護のプロとしての心構えと知識・技術の向上のために、仕事の傍ら勉強して介護福祉士の資格を取得し、在宅介護の立場から介護を見つめ直したいと思い、短期入所施設へ職場を移しました。短期入所は、ご家族の方の介護負担の軽減や介護上のアドバイスなど、在宅介護を支援する役割もあります。その中で、在宅での高齢者介護の困難さを目の当たりにしつつも、献身的に支えるご家族の方がたの姿に深い感銘を受けました。

## 躍進を力に、党国会・都議会と連携し、安倍暴走政治ストップ

総選挙で寄せられた日本共産党への期待に応え、これまで以上に、安倍暴走政治ストップ、格差のない、平和な日本へ全力でがんばります。



区民から寄せられた署名を国会内で吉良よし子参議院議員に届けるあらお大介さん

**消費税 10%増税は許しません**  
**貧困・格差の拡大 大企業本位のアベノミクスから、「国民の暮らしを支えてこそ日本経済再生の道」に転換します**

**集団的自衛権 憲法九条を守り、戦争する国づくり許しません**

**原発 再稼働ストップ、自然エネルギーへの転換。大田区の技術を生かします**

**米軍基地撤去 沖縄の心を生かす平和の外交を。民主主義の原則を守らせます**



## あらお大介さんにバトンタッチを



4期16年、みなさんのご支援で区議会で働かせていただき、本当にありがとうございました。認可保育園の増設や多摩川堤防のスロープ、たまちゃんバスなどをみなさんと一緒に実現してきました。健康上の理由から今期で引退し、あらお大介さんにバトンタッチすることになりました。これまで私にお寄せいただいたご支援を、今度はあらお大介さんへとお寄せいただきますようお願いいたします。

和田正子

生きいき・安心のまちづくり、  
皆さんと力合わせて実現します



認可保育園・学童保育所の増設  
下丸子地域はマンション急増、田園調布では広い地域に1か所だけ、「入れても遠くて大変」など切実な声が上がっています。



商店街に休憩・集会所  
高齢者が休憩できて買い物安心、人びとが集える賑わいの商店街に

身近な公園に健康遊具の設置  
だれもが身近で健康体操。生きいき、元気なまちづくりを



みんながつどえる  
集会施設の増設

鵜の木、沼部駅前に駐輪場の増設  
駐輪場から自転車があふれています。



交通事故のない安全なまちづくり  
これまでも住民と日本共産党が協力して声を上げ、歩行者信号やカーブミラーなどが増えました。さらに、多摩川土手の道路などの安全対策を進めます

下丸子駅の改善  
乗降客が多く、ホームや踏切に人があふれ、とりわけダイヤが乱れた時などは、大変な混雑で危険な状況です。通勤時の臨時改札口の設置など、安全で使いやすい下丸子駅に

# 「介護とは、その人の暮らしや生き方に、寄り添うこと」を信条に



障がい者の方がたとのふれあい

その後、NPOで障がい者の方がたの日常生活を支える中で、障がいを抱えながらも明るく前向きに生きている姿に、人として生きることの素晴らしさを教えられたことは、大きな財産となりました。  
このころから、あらおさんは「だれもが一日に一度は笑顔になって、生きるよろこびを実感してほしい」とねがって介護をつづけました。

「いてくれるだけで安心ね」と慕われて

あらおさんは、介護の現場で「いてくれるだけで安心ね」と利用者や働く仲間から慕われ、信頼されながら、今日まで歩いてきました。

政治を変えて「だれもが安心できる介護」を

しかし、介護保険制度のあいつぐ改悪、現場で働く仲間たちの苦勞など、現場の努力だけでは解決できない現実に直面してきました。  
そんな時、「政治を変えて、『だれもが安心できる介護』を。そのために、ぜひ区政に」と要請され、挑戦を決意。  
まちの中では「介護」への切実な要求が次つぎとよせられます。その期待になんとしてもこたえたいと、燃えに燃えています。

あらおさんは17年間介護の職場で働いてきた経験を活かして社会的に弱い人の立場に立つて活躍しています。優しい笑顔のあらおさんを応援します。  
団体職員 上田楓

がんばれ！あらお  
明るく誠実で誰からも慕われるあらお君。山形の仲間もエールを送っています。必ず勝ち抜いて区議会へ！  
新聞記者 高橋宏治

# 差別と分断に屈しない 父母の生き様を知って



あらお大介さんの故郷は山形県酒田市です。国鉄羽越線の機関士だったお父さんは、国鉄の分割民営化、労働組合にたいする分裂攻撃の嵐に抗して、広域配転にも屈せず、仲間とともにたたかっていました。

「父のたたかいが理解できたとき、父と母をととても誇らしく思えた」と、あらおさんは振り返ります。

たたかひの中でも、絵本や演劇が大好きなお母さんが教えてくれた豊かな世界が、「平和大好き、人間大好き」になった原点だと思つてとても感謝しています。

## 平和の党・共産党に 23歳で入党

故郷酒田で仕事の傍ら地元のアマチュア劇団の活動を続けるなかで、共産党と出会いました。

長い党の歴史で一貫して戦争反対をつらぬいてきた日本共産党の姿勢に共感しての入党でした。

酒田の共産党青年支部の仲間たちと共に取り組んできた平和友好祭、平和大行進や青年の要求実現などの活動は、今もあらおさんの心のなかで燃え続けるとても大きな財産です。



父母より

大介は幼い頃から不器用ながらも物事に一途に取り組む子どもでした。

皆さんのために頑張ってくれることを願っています。大田区の皆さん、どうぞよろしくお願ひ致します。

## 若者に希望ある大田区に



働くルールが  
メチャクチャ

社会人2年目、給料が少ない。残業が多い。正社員になりたい。働きすぎて心の病になり自殺した友人がいる。何とか規制してほしい。

K男君

## 大田区の積立金1,000億円を生かし 青年の未来に投資を

大田区には1000億円もの積立金があります。巨大開発ではなく青年の未来に投資する。これこそ自治体の仕事です。青年が力を合わせて未来を切り開く、そのために区政を変えるぞ、と決意を新たにしています。

あらお大介

フルタイムで働きたい

夫は入社7年、給料は1度上がっただけ。2歳の娘が保育園に入れば、すぐにもフルタイムで働きたい。

R子さん

育鵬社の教科書やめて

安倍さんを見てみると息子の将来が不安になります。戦争を美化する教科書なんてまっぴらです。

中学2年生の母

バイトでくたくた

奨学金欲しい

アルバイトで大変な毎日。給付制の奨学金がほしい。

大学院生 丁介君